

平成31年度

予算編成及び政策決定等に関する

国への提案・要望

～ 国策関連要望～



維新胎動の地
山口県

平成30年6月 山口県



岩国基地関連の安心・安全対策の推進と地域振興策の実施について

《外務省／防衛省》

提案・要望

1 米軍岩国基地に係る安心・安全対策の推進

- 空母艦載機移駐後の航空機騒音の状況把握や地域の実情に即した防音対策など住民生活の安定を確保するに十分な騒音対策の実施
- 移駐した航空機を含めた機体の整備点検やパイロットへの安全教育など徹底した安全対策の実施
- 航空機の運用に関し、「岩国日米協議会」における確認事項等の遵守や、住民生活への影響が大きい訓練の事前通知、飛行実態の把握など、地域住民の不安解消に向けた措置の実施
- 米軍構成員等による犯罪、交通事故の防止に向けた規律の厳正な保持、教育訓練の徹底など適切な措置の実施

2 住民福祉の向上と地域の発展に資する振興策の実施

- 周辺環境整備法等の既存法制度の拡充など地元の実情に応じた施策の展開
- 地元市町が求める地域振興策の実現に向けた再編関連特別地域整備事業(県交付金)の確実な実施
- 米軍再編に係る地元市町の要望の実現に向けた各種支援措置の実施
 - ・ 市町への再編交付金制度の拡充措置の確実な実施
 - ・ 国道188号岩国南バイパス南伸の早期事業化 等

現状

長年にわたる基地の存在＝負担

- ・ 地域住民の生活の安定に及ぼす影響
- ・ 産業の発展に制約

米軍再編に伴う地元への影響

◇空母艦載機部隊の移駐完了(平成30年3月末)

- 地 域 住 民： 倍増する航空機による騒音被害、墜落の危険性、米兵犯罪への不安等
- 基地周辺自治体： 米軍人・家族が大幅に増加することによる基盤整備など新たな財政需要の発生

航空機運用に関する地域住民の不安

- ・ 運用に関する情報が十分提供されていないことによる不安

課題・問題点

地元の実情に対する政府の配慮

- 地域住民の不安解消につながる安心・安全対策の推進が必要
- 基地の存在そのものの負担と、我が国の平和と安全への貢献に見合う特段の地域振興策の実施が必要

↓ 施策展開・制度に求められる方向性 ↓

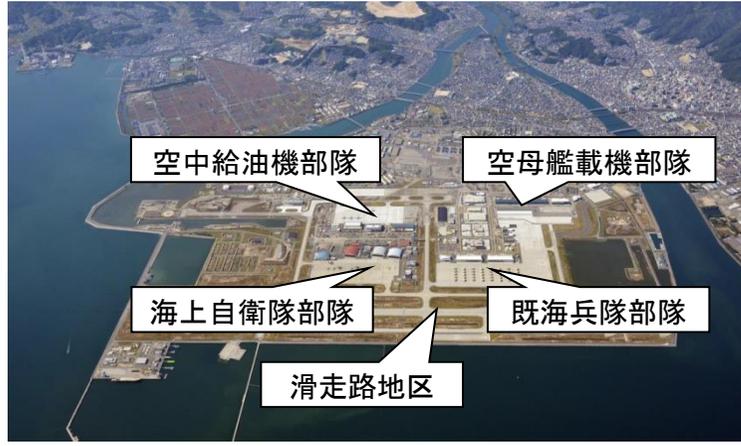
- 航空機騒音や運用の実態把握に努め、問題があれば、国や米側に対応を求めていくことが必要
- 住民生活の利便性の向上や産業の振興に向けて、広域にわたるハード・ソフト両面からの取組を積極的に展開していくことが必要

航空機運用に関する不安の解消に向けて

- 航空機の運用に関し、政府による地域住民の不安の解消を図るための措置が必要

「再編実施のための日米ロードマップ」ほか

岩国基地の施設配置



空母艦載機部隊の移駐
(約60機、約3,800人)

FA-18 48機程度
EA-18G 6機
E-2D 5機
C-2 1機 **完了**

岩国基地

空中給油機部隊の移駐
(15機、約870人)
完了

厚木基地

普天間基地

航空機の運用



運用の変化など

<地域住民>

- ・騒音被害
- ・墜落の危険性
- ・米兵犯罪への不安

<基地周辺自治体>

- ・移駐に伴う基盤整備など新たな財政需要の発生
- ・米軍再編に係る地元市町の要望

<地域住民>

- ・運用に関する情報が十分でないことなどによる不安

- 1 米軍岩国基地に係る安心・安全対策の推進
- 2 住民福祉の向上と地域の発展に資する振興策の実施